

令和4年度事業報告書概要（葛西海浜公園）

指定管理者：葛西海浜公園パートナーズ

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

・建物管理

衛生器具などの清掃については、基準以上の回数を実施しトイレの美化に努め、常に快適にご利用いただける環境を提供しました。また、トイレやタイル面などは高圧洗浄機による洗浄を行い、通常の清掃では落とすきれない汚れなども定期的に洗浄し、園内美化を図りました。

・園地管理

海水浴体験期間には砂浜清掃を強化し、漂着ごみや流木などを毎日回収し、可燃ごみ14.1 t、流木等木くず2.0tを回収しました。



公園スタッフによる海岸清掃



コンテナ約1台分の流木(1.1t)

< 砂浜清掃の様子 >

・希少種を保護した草刈り

希少植物や海浜植物を保全するため、パークレンジャーが時期や植生を見て植物の保護をしながら草刈りを行いました。また、希少野鳥が孵化した際は、巣の周囲をシートで囲いヒナを保護しました。

・潮干狩りルール周知

ルールが守られていなかったり問合せが多かったことから、潮干狩りルールの普及啓発や干潟の安全な楽しみ方、自然情報の発信などを目的として、シーズンに合わせて「ひがたあそびマナーアップキャンペーン」を開催しました。潮干狩りの楽しみ方や生きもの情報などを掲載したパンフレットを作成し、さらに連動イベントとして生きもの観察会を開催し、多くの利用者にルールを周知するとともに、公園の魅力伝えることができました。



< ひがたあそびブック >

○ 安全性の確保

・海上保安部との連携・海上保安協力員任命

利用者が増加する夏のシーズンの海難事故防止のため、海上保安部による安全航行指導を実施しました。水路航行中の船舶に対し、安全航行指導や飲酒運転取締りを実施するとともに、航行ルートの確認などを行いました。また、海上保安協力員として指名され、海上保安庁とより強く連携し、園内の安全を保持しました。

2 事業効果

○ 事業の取組

・観察会イベントのパッケージ化

いきもの観察会は干潟・魚類・野鳥の3種類ありますが、チラシのデザインを統一しブランディング化を図りました。いきもの観察イベントを目的とする利用者が一目でわかるようにし、参加者の獲得に努めました。



<なぎさいきもの観察会チラシ>

・電子チケットの導入

観察会イベントは先着順の予約制でしたが、抽選で参加チケットを販売しました。抽選では毎回定員数を超える申し込みがあり、ニーズの高さが伺えました。また、初参加の参加者が多く、新規参加者を獲得することができました。

・カヌー体験教室の実施

「カヌーのまち江戸川区」のPRを発信するとともに公園の魅力発信を目的として、カヌー体験教室を実施しました。区や地域団体と協働して行うことで、公園の海辺活用と地域の活性化及び公園の魅力向上を図りました。



<カヌー体験会>

・企業や団体の清掃活動受け入れの拡充

ごみの削減及びごみ問題の普及啓発を目的とし、企業や団体の清掃活動を受け入れる仕組みを確立しました。トンゴやごみ袋の貸出し、レクチャーなども行い、清掃活動のみならず海洋ごみ問題や公園について知ってもらうよい機会となりました。年間で多くの方に参加していただき、公園への愛着心を育むとともに環境美化への意識向上にもつながりました。

○ 利用の状況

新型コロナウイルス感染症対策により令和4年4月はバーベキューエリアを休止していましたが、公園全体の利用者数は前年度から増加しました。

○ 行政目的の達成

・新型コロナウイルス感染症対策

園内での飲食禁止や桜花期の大人数での飲食自粛の掲示を作成し、都の作成した感染症拡大防止ポスターとともに、公園管理事務所や案内所などに掲示しました。

3 収支状況（単位：千円）		
項目		金額（税抜）
収入 計		119,552
内 訳	指定管理料	119,552
	利用料金	0
支出 計		118,973
収支差		579

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。